

浜田林業部トピックス(8月号)

TOPICS 1

治山施設定期点検開始

西部農林振興センター管内には2,600余りの治山施設地区があり、治山ダムなど多くの治山施設が設置されています。このたび、既存治山施設の長寿命化対策として、今後10年間にわたる定期的な点検を開始しました。

現地では各施設本体や周辺の森林を目視で確認し、図面・写真と共に調査書に記録していきます。7月から開始した点検において、早急に対策が求められる施設は確認されておりませんが、損傷等不具合が確認された場合は、効率的・効果的手法による対策を今後検討していく予定です。



主な治山施設（谷止工）



点検の様子

TOPICS 2

浜田市今福公民館にてクマの出前講座を行いました

8月20日に小学生を対象としたクマの出前講座を実施しました。今回の出前講座は、ツキノワグマの目撃が多い地域の公民館からの依頼により実施したものです。西部農林振興センターの鳥獣専門指導員が講師を務め、ツキノワグマの食性、性格（性質）、季節ごとの行動、出会わないための注意点、出会った場合の対処法を寸劇を交えながら解説しました。また、ツキノワグマの剥製や毛皮、頭蓋骨や足形に実際に触れながらの質疑応答も行いました。参加した児童からは「毛がこんなに柔らかいと初めて知った」「クマの足の速さを知って驚いた」「クマは果物が好きということが分かった」「人に出会ったときのクマの気持ちが分かった」等の感想があり、ツキノワグマに対する理解を深めてもらうことが出来ました。



クマに出会ったらどうする？
子どもたちに考えてもらいました。



クマの歯を触ってみました。



「毛がふわふわ！腕が太い！
鼻が犬みたい！」
様々な感想がありました。